

平成29年度

事業計画書

社会福祉法人 日野市社会福祉協議会

目次

地域福祉活動推進事業拠点区分

地域福祉事業	障害者就労支援事業	・・・	1
	福祉バスふれあい号の運営管理	・・・	1
	みんなといっしょの運動会（障害者運動会）	・・・	2
	夏の親子レクリエーション	・・・	2
	地域ネットワーク事業	・・・	3
	地域介護予防活動支援事業	・・・	4
	介護予防機能強化推進事業（生活支援コーディネーター）	・・・	4
	視覚障害者への朗読広報作成（情報提供）業務	・・・	5
在宅福祉事業	在宅高齢者ケアサービス事業	・・・	6
	移送サービス（日野バゲイジャ）事業	・・・	7
	高齢者食事宅配サービス事業	・・・	8
	車椅子貸出事業	・・・	8
	コミュニケーション支援事業	・・・	9
ボランティア活動推進事業	日野市ボランティア・センター	・・・	10
	日野市介護サポーター制度	・・・	12
	日野市生涯学習支援システムポータルサイト「Hi Know!」	・・・	12
	トップアスリート講演会及びスポーツボランティアセミナー	・・・	13
助成事業	歳末たすけあい地域福祉活動助成	・・・	14
	地域支え合い福祉活動助成	・・・	14
生活福祉資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	・・・	15
福祉サービス利用援助事業	地域福祉権利擁護事業	・・・	16
	権利擁護センター日野	・・・	16
福祉人材育成事業	手話通訳者研修事業	・・・	18
	手話講習会事業	・・・	18
	福祉のしごと相談・面接会	・・・	19
	福祉のしごと見学会	・・・	19
	介護人材育成研修事業	・・・	19
	実習生の受入	・・・	20
法人運営事業	組織運営事業	・・・	21
公益事業拠点区分			
福祉センター管理事業	日野市立中央福祉センターの管理運営	・・・	23
高齢者就業創出支援事業	しごとサポートひの	・・・	23
収益事業拠点区分			
自動販売機設置管理事業		・・・	24
日野市役所内売店の運営		・・・	24
共同募金運動			
赤い羽根共同募金運動		・・・	25
歳末たすけあい運動		・・・	26
日野市社会福祉協議会	組織体制	・・・	26

社会福祉法人 日野市社会福祉協議会 平成29年度事業計画方針

今年度は、「“みんなでつくる”豊かなまち日野～助けられたり助けたり～」を基本理念として作成いたしました「第4次日野市地域福祉活動計画」における計画期間の3年目となります。既に、計画に沿った取り組み・事業運営を推進しておりますが、「地域福祉活動計画推進会議」において事業の検証・評価を行う重要な年度となっております。これを受けて、計画の実効性を高めるため見直しや検討を行ってまいります。

地域介護予防活動支援事業においては、地域住民や団体による自主的な介護予防活動を支援し、育成していきます。今年度は、新たな体操として「ひの健幸貯筋体操」の普及に努めます。

多様化する地域課題を地域で解決することをコンセプトに昨年設立されました地区社協「ぷらっと南平」では、今年度から本格的に自主事業の取り組みを進めることとしており、さらなる連携・支援を図ってまいります。また、市内に2カ所目となる地区社協の設立を目指します。

日頃から災害に備えることは重要な課題であり、地域でも関心が高まっております。3年目となる「日野市民でつくる防災・減災シンポジウム」は、これまで以上に市民の手でつくるものとしていきます。

地域で暮らし続けるために必要な支援として実施してきました「在宅高齢者ケアサービス事業」と「配食サービス事業」を在宅サービス係に統合し、また、「移送サービス（ハンディキャブ）」との連携を進めます。

判断能力の低下した方への支援を行う「権利擁護センター日野」の機能強化を図るとともに市民後見人の養成講座を実施します。

共同募金運動では、広報活動を工夫し、運動の普及・拡大に努めます。最近では、小・中学生や高校生・大学生など若い世代の参加や協力が広がってきています。福祉教育やボランティア活動の一環として理解を頂き募金運動を拡げていきます。

社会福祉法の改正に伴う地域公益活動について、市内社会福祉法人のネットワーク化を図り、具体的な活動内容を検討していきます。

また、本年度は、法人設立50周年の節目の年となるため、記念行事と記念誌の発行を行います。これまで、多くの皆様方に支えられて様々な取り組み・事業を行ってまいりました。

これからも市民の皆様をはじめ、関係団体、関係機関等と力を合わせて地域福祉の推進を図るため、日野市社会福祉協議会としての役割を果たしてまいります。

【重点目標】

- 1 ぷらっと協議会の設立・運営支援
- 2 地域介護予防活動支援事業の推進
- 3 地域活動の支援（個人・団体）
- 4 多様な福祉人材の育成・確保（職員・ボランティア）
- 5 財源の活用方法・確保の検討

地域福祉活動推進事業拠点区分

地域福祉事業

事業名	障害者就労支援事業
事業形態	独自事業
財源内訳	利用料、繰入金
担当係	在宅サービス係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目的	しごとパートナーを派遣することにより、既に就労またはこれから就労する障害者の社会参加活動等に寄与する。 障害者就業に関係する団体同士のネットワーク化を図り、連携を図る。
事業内容	1. しごとパートナー事業
具体的内容	①利用者からの依頼に基づき、しごとパートナーを派遣する。 ②事業の見直しについて検討を進める。
事業内容	2. 日野市障害者就業支援連絡会
具体的内容	①隔月に1回程度開催される連絡会での情報交換を行う。 ②連絡会主催イベントの障害者就業支援フェスタを開催する。
事業内容	3. 日野わーく・わーく
具体的内容	①共同受注、共同販売、イベント等の側面支援を行う。 ②毎月1回開催の会議において情報交換を行う。

事業名	福祉バスふれあい号の運営管理
事業形態	独自事業
財源内訳	利用料、会費、繰入金
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目的	高齢者や障害者等外出機会の促進、市民活動の活性化を図るため、車椅子対応福祉バス「ふれあい号」を運行する。
事業内容	1. 安全かつ円滑な事業運営
具体的内容	①利用者からの予約受付、運行業者への連絡を行い、円滑な運営を行う。 ②法令を遵守し、安全配慮に努めるために必要な指導を行う。 ③健全な運営が図られるよう事業見直しを図る。
事業内容	2. 運行委託契約の終了に伴う新たな外出支援の検討
具体的内容	①ふれあい号の運行契約が平成29年5月末（平成21年6月から8年間）で終了することを受け、障害者や高齢者に対する新たな外出支援策の検討を行う。

事業名	みんなといっしょの運動会（障害者運動会）
事業形態	共催事業（東京日野ライオンズクラブ）
財源内訳	寄附金、受託金
担当係	ボランティア係
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる
目的	体を動かす機会の少ない障害者の健康増進・運動促進を図るとともに、市内福祉施設や地域住民との交流を図る。
事業目標	1. 障害者運動会の開催
事業内容	<p>①市内障害者福祉施設・事業所・市内在住の障害のある方に参加を呼び掛け、障害者運動会を開催する。参加者の高齢化に伴い、参加者の身体状況に合わせたプログラム構成とする。</p> <p>②競技を通じて、市内の福祉施設間ならびに地域住民・ボランティアとの交流を深め、障害のある方に対する理解を深める。</p> <p>③2020東京オリンピック・パラリンピックに向け、障害者スポーツ（ボランティア）への理解を深める。</p> <p>④日野市と連携し、オリンピック・パラリンピアンを招へいし、市民の関心を高める。</p>

事業名	夏の親子レクリエーション
事業形態	独自事業
財源内訳	参加費、歳末たすけあい配分金
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目的	ひとり親家庭の親子の交流及び障害児世帯の余暇活動を支援。
事業内容	1. 夏の親子レクリエーション（日帰りバス旅行）の開催
具体的内容	<p>①ひとり親家庭ならびに障害児世帯を対象に、貸切バスを利用し東京ディズニーランドもしくは東京ディズニーシー日帰り旅行を実施する。</p> <p>②参加費の補助率や財源を見直す。</p>

事業名	地域ネットワーク事業
事業形態	独自事業
財源内訳	会費、参加費
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる
目的	住民や様々な団体と連携・協働し、地域包括ケアシステムを推進するための基盤となる地域づくりを行う。そのために、課題発見の仕組みづくりや多様なネットワークの構築、地域の主体的な地域福祉・交流活動が図られるよう支援する。
事業内容	1. 地域担当の配置
具体的内容	①4つの日常生活圏域（ひの・たかはた・とよだ・ひらやま）に配置した地域担当の各圏域における関係づくりをさらに進め、地域で活動する方々が相談しやすい体制づくりをする。 ②関係機関や地域住民を巻き込んで地域づくりを行うための基盤づくりができるよう、職員の資質向上のための研修参加や職場内でのスーパービジョンを積極的に行う。
事業内容	2. “みんなでつくる” ぷらっと協議会（地区社協）の運営支援
具体的内容	①平成28年3月、日野市で初めて設立された「“みんなでつくる” ぷらっと協議会 南平」の本格実施に向け、地域住民の主体的な「話し合いの場づくり」の継続的な実施を支援する。 ②南平地区の地域課題となっている防災活動、世代間交流、買物支援等具体的な計画について協力する。 ③地区社協の拠点の確保、整備を進める。 ④地区社協に対して助成を行う。 ⑤市内に2か所目の地区社協の設立を目指す。
事業内容	3. 地域懇談会アクションプラン実行委員会との連携・協働
具体的内容	日野市地域協働課主催の地域懇談会への参加・協力ならびにアクションプランへの参加を通じて、地域との関わりを深め、地区社協との連携・協働が図られるよう検討する。
事業内容	4. 地域福祉活動団体への支援
具体的内容	①地域福祉活動団体や地域交流サロン、その他様々なボランティアグループと連携を図り、活動についての相談や助成金の交付等運営支援を行う。 ②地域交流サロン等の情報交換の場「交流ひろばCafé」を年2回開催（予定）し、団体同士のネットワークづくりや運営スタッフのスキルアップを図る。 ③福祉体験講座や防災訓練、見守り、サロン活動、介護予防等への協力といった運営支援を行うとともに、新たに立上げを希望する団体の支援を行う。

事業名	地域介護予防活動支援事業
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる
目的	高齢者が、自ら要介護・要支援状態になることの予防に努めることができる環境を整備し、地域住民や団体による自主的な介護予防活動を育成し、支援する。
事業内容	1. 介護予防教室の開催
具体的内容	年間約108回程度（各地域包括支援センターの圏域で約12回ずつ）の介護予防教室を開催する。
事業内容	2. 日野市地域介護予防活動団体の登録の推進
具体的内容	高齢者が身近な地域での介護予防活動情報を得やすくすることで参加も促進できるようにする。そのため、すでに地域住民が主体的に行っている介護予防活動を支援し、日野市地域介護予防活動団体として登録してもらい、広報ひのやHi know!で発信する。
事業内容	3. 新たな体操「ひの健幸貯筋体操」の普及
具体的内容	①新たに地域住民が行う介護予防活動のプログラムとして日野市で取り組むことになった「ひの健幸貯筋体操」（主に筋力アップ及び維持を目指す体操）を普及するための活動を行い、住民による介護予防活動を支援する。 ②体操のサポーター（ひの筋サポーター）の養成を行う。

事業名	介護予防機能強化推進事業（生活支援コーディネーター）
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる
目的	地域において、生活支援等サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を今年度も受託し、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備の推進を図る。
事業内容	関係機関との連携・ネットワークの構築
具体的内容	①高齢福祉課や地域包括支援センター、NPO、民間企業、社会福祉法人、ボランティア等と連携し、高齢者自身の力を引き出しながら住民主体の地域づくりを行う。 ②介護予防に関する地域の情報の収集・発信や、介護予防を広める市民による活動の支援方法について検討する。

事業名	視覚障害者への朗読広報作成（情報提供）業務
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	総務係
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる
目的	日野市の情報のデジ版を作成（録音・編集）し、視覚に障害のある方へ日常生活に必要な情報の提供を行う。
事業内容	1. 朗読（デジ）版「広報ひの」の作成（年24回）
具体的内容	①「朗読サークルひの」へ業務委託し、デジ版「広報ひの」の作成（朗読・編集）、視覚障害（利用登録）者へ送付する。 ②デジ版「選挙広報」の作成を行う。
事業内容	2. 朗読（デジ）版「ひの市議会だより」の作成（年4回）
具体的内容	①「朗読サークルひの」へ業務委託し、デジ版「ひの市議会だより」の作成（朗読・編集）、視覚障害（利用登録）者へ送付する。

在宅福祉事業

事業名	在宅高齢者ケアサービス事業
事業形態	補助事業（日野市）
財源内訳	補助金、参加費、利用料
担当係	在宅サービス係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目的	市民の協力により、会員制の家事援助等のたすけあい活動を実施し、日常生活に支援が必要な高齢者の在宅生活を支援する。
事業内容	1. 利用会員（在宅高齢者）への生活支援
具体的内容	①利用会員の依頼を受けて、協力会員による家事援助、見守り・話し相手、外出付添等の活動によって日常生活の支援を行う。 ②日常生活圏域ごとに1人ずつ相談員を配置し、会員、代理人、家族等からの相談に応じ、利用会員の生活を支えるために必要な連絡調整を行う。 ③利用会員の同意のもと、必要に応じて当会が行う他の在宅サービス系事業や関係機関と連携して情報共有を図りながら支援を行う。
事業内容	2. 協力会員の確保・育成
具体的内容	①ホームページやひの社協だより等を活用し、事業周知と協力会員の募集を行う。 ②事業周知のため事業説明会を開催する。 ③主に新規の協力会員の希望者を対象に活動実習を行う。 ④活動に関する学習や情報交換のための場を設ける。
事業内容	3. 会員同士の交流
具体的内容	協力会員と利用会員が気軽に集まり、会員同士のつながりを作れる機会を提供する。また、会員の自主活動であるクラブ活動の支援を行う。 ①おしゃべりサロン 年10回程度 ②はつらつ体操 年12回程度 ③バスハイク 年1回 ④新年会 年1回 ⑤クラブ活動支援 随時
事業内容	4. 情報発信
具体的内容	毎月発行の広報誌「ねっとわーく」等により、会員や関係機関等に向けて事業に関する情報を発信する。

事業名	移送サービス（日野ハンディキャブ）事業
事業形態	補助事業（日野市）
財源内訳	補助金、利用料
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目的	公共交通機関での移動が困難な市内在住・在宅の高齢者や障害者が気軽に外出できるよう、福祉車両を使い外出支援を行う。
事業内容	1. 在宅高齢者や障害者の外出支援
具体的内容	①外出が困難となっている在宅の高齢者・障害者の外出支援を行う。 ②住民同士の支え合いの仕組みづくりを図るため、必要な人材（運転協力者）の確保・育成を行う。
事業内容	2. 見守り体制の強化・連携
具体的内容	①社会福祉協議会が行う他の在宅サービス系事業と情報共有を図り、見守り支援体制の強化を図る。 ②運転協力者連絡会を開催し、情報共有を図り支援する。（毎月1回）
事業内容	3. 移送サービスの調整・運行
具体的内容	①利用希望者からの相談に基づき、訪問調査を行う。 ②利用者からの依頼に基づき、運転協力者へ依頼・調整を行う。 ③車両運行スケジュールの調整を行う。 ④安全運転と車両管理を行う。
事業内容	4. 安全管理
具体的内容	①法定点検のほか、ハンディキャブ車両のメンテナンスを行い、安全な事業運営に務める。 ②安全運転者講習会を開催する。 ③運転協力者に対し、福祉有償運送運転者講習、患者等搬送乗務員講習の受講を義務付ける。
事業内容	5. 関係機関との情報共有・連携強化
具体的内容	①利用者の最近の様子、気になる事等を利用者の支援者（地域包括支援センターやケアマネジャー等）と情報共有、連携し、利用者主体の支援が図られるよう努める。 ②日野市福祉有償運送運営協議会への出席。

事業名	高齢者食事宅配サービス事業
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金、歳末たすけあい募金配分金
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目的	地域で孤立しがちな在宅高齢者に、栄養管理のされた昼食を提供することにより、食の確保や健康状態の把握に努める。 弁当配達時に安否確認を行い、孤立化の未然防止・緊急時の早期発見・自立生活の支援を行う。
事業内容	1. 在宅高齢者への食の確保ならびに栄養改善
具体的内容	①高齢や疾病により買い物・調理が困難となった高齢者ならびに支援者からの要請に基づき、希望者への訪問調査を行い状況把握に努める。 ②訪問調査に基づき、事業者による昼食弁当の配達を実施する。 ③定期的な配食による食習慣の改善ならびに栄養管理された食事による栄養改善を図る。
事業内容	2. 地域で孤立する高齢者への見守り・安否確認
具体的内容	①利用希望者への訪問調査を行い、調査時に生活、身体、立地状況等を確認。必要な支援（機関）に適宜連絡し、在宅生活の支援を図る。 ②利用者への配達時での緊急対応が必要な際は、ケアマネジャーや家族等に連絡し、早期発見に努める。 ③安否確認 ③希望者におせち料理を届け、年末年始における見守りを行う。
事業内容	3. 見守り体制の強化・連携
具体的内容	①在宅サービス係への担当業務を移行し、在宅支援の強化を図る。

事業名	車椅子貸出事業
事業形態	独自事業
財源内訳	利用料
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目的	高齢、障害、怪我等で歩行が困難な方に短期間の車椅子の貸出を行う。
事業内容	1. 利用状況の把握、在庫管理
具体的内容	①一時的に車椅子を必要とする人へ車椅子を貸し出す。 ②在庫管理の徹底。（長期間貸出者の確認・返却依頼、老朽化した車椅子廃棄）

事業名	コミュニケーション支援事業
事業形態	補助事業（日野市）
財源内訳	補助金
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目的	聴覚障害者の情報保障やコミュニケーションの円滑化を図り、社会参加の機会向上のため、手話通訳者を派遣する。 聴覚障害者が地域で安心して暮らせるよう相談を受け、関係機関と連携して支援する。
事業内容	1. 利用者支援
具体的内容	①聴覚障害者の日常生活を支えるため、必要な社会資源等の情報提供を行う。 ②聴覚障害者が困った時、いつでも相談できる環境づくりに努める。 ③情報保障およびコミュニケーション支援を行う。 ④利用者懇談会を開催する。
事業内容	2. 手話通訳者の派遣・調整
具体的内容	①利用者からの依頼に対し、通訳者を派遣する。 ②利用者、通訳者の双方のコミュニケーション技術等を勘察し調整する。
事業内容	3. 手話通訳者の資質向上
具体的内容	①日野市登録手話通訳者の会、日野市聴覚障害者協会の協力のもと、活動経験の浅い手話通訳者を対象とした研修会を実施する。 ②心身ともに健康な状態で通訳活動が行えるよう、健康診断および頸肩腕検診の受診を促す。
事業内容	4. 関係機関との連携
具体的内容	①事業の在り方について、日野市障害福祉課と協議していく。 ②日野市登録手話通訳者の会と協力関係を築く。

ボランティア活動推進事業

事業名	日野市ボランティア・センター
事業形態	独自事業
財源内訳	会費、事業収入
担当係	ボランティア係
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる
目的	ボランティアを必要としている人と地域に貢献したい人をつなげていく。様々な情報ネットワークを活用し、ボランティア情報の収集・発信を行う。
事業目標	1. ボランティア相談・コーディネート
事業内容	<p>①ボランティア活動に関する相談・調整を行う。</p> <p>②ボランティアグループ、NPO、市民活動団体に対し、必要な相談支援を行う。</p> <p>③ボランティア登録、ボランティア保険の案内・手続きを行う。</p> <p>④ボランティア管理システムを運用し、円滑な運営を行う。</p> <p>⑤ボランティア窓口相談員連絡会、ボランティア企画調整部会を開催する。(毎月1回)</p> <p>⑥ボランティア活動が即時に出来ない精神的不安又は障害等の諸事情を抱えた方への対応として、市内外の保健医療分野を含む関係団体や、相談機関・支援機関と連携をしていく。</p> <p>⑦企業の新任社員向け研修生の受入。東京ボランティア・市民活動センターからの協力依頼に応じて、市内の施設・団体とともにボランティア体験の受入を行い、地域の一員として積極的に行動できる人材育成を目指す。</p>
事業目標	2. 多様なネットワークの構築
事業内容	<p>①ボランティア活動者に日頃の感謝と情報交換を目的として、ボランティア交流会を開催する。</p> <p>②NPO法人ひの市民活動団体連絡会をはじめとする市民活動を行う企業、学校、団体等と連携し、多様なネットワーク構築に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市民フェア」開催支援 ・「まち活」運営支援 ・「キョテン107」運営支援 ・「チャンネルマーケット」運営支援 <p>③多摩地区の大学とのネットワーク。事業協力や、様々なボランティア活動、活動のパネル展示等のサポートを行う。</p> <p>④NPO法人フードバンクTAMAとの連携協定に基づき子どもの貧困対策に取り組む。</p> <p>⑤「みんなの遊・友ランド」等市内のイベントを通じ、各種ボランティア活動のきっかけづくりとする。</p> <p>⑥南多摩ブロック社会福祉協議会ボランティア担当者会議に参加、他地区との情報交換・共有を図る。</p> <p>⑦市内の学生の職場体験の受入。</p> <p>⑧児童健全育成・三世代交流として、児童部会員による市内小中学校における、イベントやレクリエーションへの協力。</p>

事業目標	3. ボランティア情報の発信・提供・収集
事業内容	①ボランティア・インフォメーション（毎月）を発行する。 ②配布ボランティアや障害者施設にインフォメーションの配布協力を依頼。 ③配布ボランティアへのお礼と情報交換を目的として、配布ボランティア感謝の集いを開催。 ④フェイスブック等のSNSを活用し、ボランティア情報の発信を行う。
事業目標	4. 福祉体験講座の開催
事業内容	①市内小中学校等の福祉学習の相談支援を行い、福祉体験講座（車椅子、高齢者疑似体験、視覚障害者体験、当事者の語り部等）を開催する。 ②「夏のボランティア体験学習2017」を開催する。
事業目標	5. ボランティア講座の開催
事業内容	①傾聴ボランティア入門講座「りっすん」（全5回） ②ボランティア入門講座 ③福祉体験講座・防災プログラムに特化したボランティアの養成講座
事業目標	6. ボランティアセンター運営委員会（仮）の設置に向けて
事業内容	①ボランティアセンター運営委員会の設立に向け、市民や各種関係者・団体との話し合いの場を設ける。 ②設置された後、ボランティアセンターの運営の事務局を担う。
事業目標	7. 防災・減災をテーマにした地域づくり
事業内容	①みんなでつくる日野の防災プロジェクト運営事務局 ②日野市民でつくる防災・減災シンポジウム実行委員会運営事務局 ③災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施 ④多様な防災プログラムを活用した地域の自治会や防災組織の運営支援・情報収集、市内の小中高大への防災教育の協力 ・イザ！カエルキャラバン ・HUG（避難所運営ゲーム） ・DIG（災害図上訓練ゲーム）等 ⑤その他、他地区の取り組みに参加し、情報収集に努める。 ⑥災害時、市外からのNGOやNPO等の受入について、市内団体との連携強化を進める。 ⑦各小中学校の避難所運営委員会の支援 ⑧日野市地域防災計画に基づき防災リーダーの発掘と育成を行う。 ⑨災害時要配慮者対策について、①の委員とともに被災地への視察を行い、自治会・自主防災会・避難所運営委員・福祉避難所・行政に対し情報提供や提言を行う。 ⑩日野市総合防災訓練への協力

事業名	日野市介護サポーター制度
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	ボランティア係
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ
目的	ボランティア活動の支援とともに、元気高齢者が積極的に社会参加、地域貢献が行えるよう努めるとともに、介護予防についての理解を深める。
事業目標	1. 介護サポーターの運営・相談支援
事業内容	①介護サポーター説明会を開催する。 ②登録希望者のボランティア活動をコーディネートする。 ③介護サポーター向け講座・研修会等を開催し、介護予防とボランティア活動のスキルアップを図る。
事業目標	2. ボランティア活動対象施設の管理・連絡調整
事業内容	介護サポーター制度受入機関の申請に基づく管理、必要な連絡調整を行う。

事業名	日野市生涯学習支援システム ポータルサイト「Hi Know!」
事業形態	補助事業（日野市）
財源内訳	補助金
担当係	ボランティア係
地域福祉活動計画における視点	ともに育つ
目的	市内のイベント、団体・サークル活動等を紹介するポータルサイトを展開し“新たな発見”“人との出会い”“地域とのつながり”“夢の実現”等のきっかけづくりのため、様々な団体・グループ等とともに市民目線で情報発信を行う。
事業目標	1. 地域団体・まち記者による情報発信
事業内容	①登録団体からのイベントと活動報告の発信 ②まち記者の取材による情報発信 ③市役所と連携しHi know!を推進していく。
事業目標	2. まち記者の養成
事業内容	①まち記者養成講座を開催 ②まち記者定期ミーティングを開催

事業名	トップアスリート講演会及びスポーツボランティアセミナー
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	ボランティア係
地域福祉活動計画 における視点	ともにそだつ
目的	トップアスリートによる講演会又はトークショーを行い、スポーツへの関心度を高め、市のスポーツ振興並びに東京オリンピック・パラリンピックに向けて気運醸成を図る。また、スポーツボランティアセミナーを通し、市のスポーツイベントへの参加率の向上、ボランティアの人材育成・促進につなげる。
事業目標	1. トップアスリート講演会及びスポーツボランティアセミナーの運営
事業内容	①企画立案、準備、運営 ②ボランティアセミナー講師、ファシリテーターの手配 ③広報、周知活動

助成事業

事業名	歳末たすけあい地域福祉活動助成
事業形態	歳末たすけあい募金配分金事業
財源内訳	歳末たすけあい募金配分金
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	とものつくる
目的	歳末たすけあい募金を原資とした助成金を、障害者団体や当事者団体、ボランティアグループ等に交付し、地域福祉活動の推進を図る。
事業内容	1. 歳末たすけあい地域福祉活動助成要綱の見直し
具体的内容	市民に分かりやすい、利用しやすい助成金にするために要綱を見直す。
事業内容	2. 助成金申請受付・決定・交付・事業報告書の精査
具体的内容	①歳末たすけあい運動期間にあわせ、助成金申請団体を募集する。 ②申請書類の審査、必要に応じて聞き取りや実地調査を行う。 ③助成金決定後、速やかに助成金を交付する。 ④助成金の使途について、報告書に基づき審査する。
事業内容	3. 広報周知
具体的内容	ひの社協だよりやホームページ等を活用し、助成団体を周知することにより募金の使われ方を広く市民に示し、歳末たすけあい募金額増加を目指す。

事業名	地域支え合い福祉活動助成
事業形態	独自事業
財源内訳	会費
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画における視点	とものつくる
目的	会費を原資とした助成金を、ふらっと協議会（地区社協）及び地域で当事者や利用者の仲間づくり、情報交換といった居場所づくりを行う地域交流サロン等の非営利団体に交付し、地域福祉活動の活性化を図る。
事業内容	1. サロン活動助成
具体的内容	①申請に基づき地域交流サロン団体等へ助成金を交付する。（年2回）
事業内容	2. 地区社協助成
具体的内容	①申請に基づき地区社協へ助成金を交付する。

生活福祉資金貸付事業

事業名	生活福祉資金貸付事業
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）
財源内訳	受託金
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目的	所得の少ない世帯、障害者世帯、介護を必要とする高齢者がいる世帯に対し、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、必要な相談援助と資金の貸付を行う。
事業内容	1. 相談支援
具体的内容	①関係機関と連携・調整を図り、相談者にとってよりよい支援を実践する。 ②貸付後は償還が滞らないよう、利用者へ適切な相談支援と債権管理を行う。
事業内容	2. 貸付相談及び貸付申請事務手続き
具体的内容	①福祉資金 ②教育支援資金 ③総合支援資金 ④不動産担保型生活資金及び要保護世帯向け不動産担保型生活資金 ⑤緊急小口資金
事業内容	3. 関係機関向けの制度説明会の実施
具体的内容	日野市を始めとした関係機関に対し制度説明会を実施し、相談者にとってよりよい支援を目指す。
事業内容	4. 償還相談及び償還免除等の申請事務手続き
具体的内容	①「残額のお知らせ」の発送事務。 ②滞納や未償還世帯に対し、家庭訪問や電話訪問を実施し償還を促す。

福祉サービス利用援助事業

事業名	地域福祉権利擁護事業
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）
財源内訳	受託金、利用料、利息
担当係	権利擁護係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目的	認知症や障害により判断能力が十分でない方が、地域で安心して暮らしていくことをサポートする
事業内容	1. 地域福祉権利擁護事業
具体的内容	①認知症や障害により判断能力が十分でない方やその家族、支援者からの相談を受付、専門員による事前訪問調査を行い必要な支援を行う。 ②当事者の意思を確認し、利用契約を結ぶ。 ③専門員・生活支援員による福祉サービス利用援助、苦情申立て支援、日常的な金銭管理サービスを行う。 ④生活支援員連絡会（月1回）を開催、進捗状況の報告、情報共有を図る。

事業名	権利擁護センター日野
事業形態	独自事業
財源内訳	利用料、利息、繰越金
担当係	権利擁護係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目的	認知症や障害により判断能力に支障がある方、判断能力に支障はないが病弱・虚弱、障害等で日常生活が困難な方が地域で安心して暮らしていくことをサポートする。
事業内容	1. 財産保全・管理サービス
具体的内容	①判断能力に支障はないが、病弱・虚弱、障害等で日常生活が困難な方を対象に地域福祉権利擁護事業に準ずる支援を行う。
事業内容	2. 成年後見制度における相談支援と親族後見人等のサポート
具体的内容	①成年後見制度の申立が必要な市民の相談に応じ、後見制度の内容、手続き等の説明を行う。 ②必要に応じて弁護士会や司法書士会、社会福祉士会等の紹介・後見人等候補者の推薦依頼の支援を行う。 ③後見が必要な状態にもかかわらず、経済的理由や親族がない等の理由で申し立てが滞っている場合には、行政をはじめとした関係機関のネットワークにより、市長申し立てや多摩南部成年後見センターの利用も視野に入れた総合的な支援を実施する。

事業内容	3. 市民後見人の養成と後見監督の実施
具体的内容	<p>①市民後見人候補登録者に、地域福祉権利擁護事業生活支援員として対人援助や金銭管理等の実務経験を積んでもらいQJTの場とする。</p> <p>②地域福祉権利擁護事業の利用者の内、判断能力の低下が進み、後見制度の利用が必要になっているにもかかわらず親族による支援が見込めない方で、市民後見人が受任することが適当と思われるケースに「候補者」の推薦を行う。</p> <p>③行政や包括支援センター等と協力・調整し、親族・身寄りの支援が見込めない方で、市民後見人が適当と思われるケースに「後見人候補者」の推薦を行う。</p> <p>④市民後見人の登録、育成、マッチングを行う。</p> <p>⑤法人後見監督を受任する。</p> <p>⑥市民後見人養成講習の実施 市民後見人候補者補充を目的に、市民後見人養成講習を市内NPO法人などとの協働で実施する。 現在登録・活動中の「権利擁護事業生活支援員」を中心に、あくまで生活支援員として活動することを前提に新規の「生活支援員・市民後見人養成講習受講者」の募集を行い、都モデルカリキュラムに沿った養成講習を実施する。</p>
事業内容	4. 事業・制度広報周知
具体的内容	<p>①地域交流サロンや自治会、福祉施設、金融機関等、市内各地記・機関の要請に応じ出張説明を実施する。</p> <p>②行政と協力し市民向け説明会を開催する。</p>
事業内容	5. 他機関との連携強化
具体的内容	<p>①弁護士会、司法書士会、社会福祉士会、精神科医、地域包括支援センター、日野市、理事で構成する権利擁護センター運営委員会を開催する。(年4～6回)</p> <p>②成年後見人(職業後見人・親族後見人・市民後見人)、福祉関係機関、行政等とネットワーク会議を開催し、情報共有・事例検討を行う。</p>

福祉人材育成事業

事業名	手話通訳者研修事業
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ
目的	日野市内で活動する手話通訳者の技能の習得及びレベルアップを目指す。
事業内容	1. 登録手話通訳者の資質向上
具体的内容	①研修会の実施（年3回） ②多様化する利用者のニーズに対応できるよう手話技術の向上を図る。

事業名	手話講習会事業
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ
目的	手話および聴覚障害者に関する基本的な知識と技術を習得することを目指し、健聴者と聴覚障害者との相互理解を深め、手話全般に関する啓発および普及を図る。また、将来に亘り日野市登録手話通訳者を増やす。
事業内容	1. 手話講習会の開催
具体的内容	厚生労働省「手話奉仕員」「手話通訳者」養成カリキュラムに基づき、手話の普及啓発を目的としたコミュニケーションコース、日野市登録手話通訳者を目指す通訳養成コースの2コース4クラス制（7クラス）を開催する。 ①コミュニケーションコース ・入門クラス 30回（昼夜各1クラス） ・基礎クラス 33回（昼夜各1クラス） ②通訳養成コース ・基本クラス 33回（昼夜各1クラス） ・応用実践クラス 33回（夜のみ） ③講演会およびミニ講演会の開催 ④通訳養成コース受講者は、手話通訳者全国統一試験受験を必須とし、合格者を日野市登録手話通訳者とする。
事業内容	2. 講師・助手会議等の開催
具体的内容	事業の円滑な運営のため各種会議を開催し、手話講習会の在り方を検討する。 ①講師助手会議（年2回） ②次年度検討会（年3回） ③その他必要であれば随時開催
事業内容	3. 手話通訳者の育成・人材確保
具体的内容	東京都手話通訳者統一試験合格者を増やし、日野市登録手話通訳者の増員、人材確保を図る。

事業名	福祉のしごと相談・面接会
事業形態	共催事業（東京都福祉人材センター）
財源内訳	歳末たすけあい募金
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ
目的	介護職をはじめとする日野市の福祉人材の確保・開拓を図る。
事業内容	1. 日野市福祉のしごと相談・面接会（地域密着型面接会）
具体的内容	①求人を用意（人材が不足）する市内福祉事業者へ参加を呼びかけ、や東京都福祉人材センターと連携し「日野市福祉のしごと面接会」（年1回）を開催する。

事業名	福祉のしごと見学会
事業形態	受託事業（日野市）共催事業（東京都福祉人材センター）
財源内訳	受託金、歳末たすけあい募金
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ
目的	人材募集をしている事業所への就労相談・人材確保の機会を図る。
事業内容	1. 福祉のしごと見学会の実施
具体的内容	①ハローワーク八王子と共催し、高齢者施設や障害者施設等求人を用意する福祉施設見学のバスツアーを実施し、福祉人材の確保を図る。（年2回） ②就労支援とともに、福祉施設に関する情報発信を行い、福祉の仕事に関する理解を深める。

事業名	介護人材育成研修事業
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	在宅サービス係、総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ
目的	市内在住・在勤の高齢・障害分野の従事者を対象にした研修会及び講演会を実施し、スキルアップと定着のための支援を行う。
事業内容	1. 講演会の実施
具体的内容	福祉人材の定着・育成を目的に関心の高いテーマを検討し、講演会を開催する。
事業内容	2. 福祉施設・事業従事者向けスキルアップ研修会の実施
具体的内容	①施設職員向け 5回（新任1回・中堅1回・共通3回） ②訪問介護員向け 5回（サービス提供責任者1回・訪問介護員4回） ③介護支援専門員向け 3回（基礎1回・応用2回）

事業名	実習生の受入
事業形態	独自事業
財源内訳	手数料
担当係	総務係・地域支援係・ボランティア係・権利擁護係・在宅サービス係
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ
目的	将来の福祉人材の育成のため、社会福祉士を目指す学生を実習生として受入、専門職としての指導を行う。
事業内容	1. 実習プログラムの充実
具体的内容	<p>①実習指導者講習を修了した職員が実習プログラムを作成する。</p> <p>②実習生が所属する教育機関との意見交換・情報共有を行い、適宜実習指導に反映する。</p> <p>③職員はもとより実習生の教育機関関係者の参加を募り、実習報告会を開催する。</p>

法人運営事業

事業名	組織運営事業
事業形態	独自事業、補助事業
財源内訳	補助金、会費、寄附金、償還金、広告料、手数料、受入研修費、利息、積立金
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ
目的	各種法令や諸規程を遵守し、住民参加による透明性の高い法人組織として健全な運営を図る。 法人内の係間の調整や事務局管理を行い、効果的かつ功利的な経営が行われるよう努める。
事業内容	1. 理事会・評議員会・経営会議の開催、監事監査の実施
具体的内容	①理事会、評議員会を開催する。(年3回程度) ②上半期および決算期に監事監査を実施する。 ③経営会議を開催する。(毎月1回)
事業内容	2. 第4次日野市地域福祉活動計画推進会議
具体的内容	①第4次日野市地域福祉活動計画推進会議は計画3年目を迎え、本計画の推進状況の「評価」の年と位置付けられている。「評価」とともに「提言」を目的に推進会議(2回/6月・11月予定)を実施する。
事業内容	3. 日野市内社会福祉法人ネットワーク会議
具体的内容	平成28年度に実施した「日野市社会福祉法人連絡会(仮称)」を「日野市内社会福祉法人ネットワーク」として発展させ、「市内各社会福祉法人の公益的な取り組みに関する聞き取り」や「職員層向けの研修会」などを実施し、法人間・職員間の親睦の輪、情報共有の機会を広げる。
事業内容	4. 日野市関係委員会への委員協力
具体的内容	①日野市が行う関係する委員会等に選出(推薦)し、日野市の地域福祉活動等の連携を深めるとともに情報共有を図る。 1. 日野市地域福祉計画推進委員会 2. 日野市子ども家庭支援ネットワーク連絡協議会 3. 日野市介護保険運営協議会 4. 日野市摂食・嚥下機能支援推進協議会 5. 日野市住宅ストック活用推進協議会 6. 日野市居住支援協議会 7. 日野市生活困窮者自立支援相談事業支援調整会議 8. 東京オリンピック・パラリンピック関係委員会
事業内容	5. 社会福祉協議会会員会費の拡充・啓発
具体的内容	①自治会や日野市民生・児童委員協議会、日野市老人クラブ連合会、日野市赤十字奉仕団、日野市商工会、日野市等様々な協力団体に対し、引き続き会員継続の協力依頼を行う。 ②ひの社協だよりやホームページを通じ、広く市民に対し会費の活用方法等の情報提供を行う。

事業内容	6. 法人管理運営
具体的内容	①各種法令を遵守し、法人管理事務を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・人事・給与 ・福利厚生（健康診断・管理） ・事業計画・報告 ・予算管理・決算事務（会計処理） <ul style="list-style-type: none"> ・文書類の收受 ・その他の事務
事業内容	7. 財源の確保
具体的内容	①会員会費の充実 ②寄附金/共同募金の募集とともに使途報告に努め、継続・拡充を図る。 ③収益事業の健全経営に努める。 ④ひの社協だより広告掲載企業を募集する。 ⑤積立金の運用・計画づくりを行う。 ⑥福祉のつどいにおいて、寄附や募金、ボランティア活動を通じて地域福祉活動に貢献された方に対し感謝する機会を作り、継続的な協力が得られるよう努める。
事業内容	8. 広報活動の工夫
具体的内容	①多様な広報媒体を活用して、地域福祉活動ならびに社会福祉協議会の情報発信を行うとともに、分かりやすい紙面（記事）づくりに努める。 <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙「ひの社協だより」（年4回）発行 ・広報紙「ひの社協タイムズ」（偶数月）発行 ・ボランティア・インフォメーション（毎月）発行 ・各事業パンフレット ・ホームページやブログ、フェイスブック、日野市生涯学習支援システムポータルサイト「Hi know!」等インターネットによる情報配信を行う。
事業内容	9. 事務局体制の整備・職員の資質向上
具体的内容	①職員会議（毎月）を実施し、職員間の情報共有に努める。 ②東京都や東京都社会福祉協議会等主催の各事業における研修参加を通じて、職員の資質向上に努める。 ③都内社協職員連絡会、南多摩ブロック職員の会、局長会等の研修を活用して、職員の資質向上に努める。
事業内容	10. 法人化50周年記念事業の実施
具体的内容	①法人化50周年を迎え、記念式典・行事を開催する。 ②「50周年記念誌」を発行する。

公益事業拠点区分

福祉センター管理事業

事業名	日野市立中央福祉センターの管理運営
事業形態	指定管理者制度（平成29年4月1日～平成33年3月31日）
財源内訳	受託金（指定管理料）、利息
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ
目的	各種福祉団体の連絡・調整し、社会福祉の啓発や市民の健康増進、地域福祉の推進等を図るとともに、利用者の安全に利用できるよう施設運営に努める。
事業内容	1. 快適な施設利用への配慮、安全かつ効率的な施設運営
具体的内容	①部屋の予約・管理を行う。 ②入浴事業を実施し、利用者に対し看護師による健康診断を行う。 ③事故の未然防止に努めるとともに、利用者からの苦情への対応を行う。 ④広報誌等の配布や掲示板により各種福祉情報の提供に努める。 ⑤高齢者等の福祉活動団体の利用者の増加を図る。
事業内容	2. 管理内容の報告、今後について協議
具体的内容	①平成29年度4月より5年間の指定管理者となるため、管理体制や利用方法について日野市と協議する。

高齢者就業創出支援事業

事業名	高齢者就業創出支援事業
事業形態	補助事業
財源内訳	補助金、繰入金、利息
担当係	しごとサポートひの
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ
目的	高年齢者の就労機会の創出、社会参加の機会を促進する。
事業内容	1. 利用者の拡大・広報周知
具体的内容	①ひの社協だよりや広報ひの、ホームページ掲載、チラシ作成・配布等幅広く周知し、利用者の拡大に努める。
事業内容	2. 求人事業所への積極的な開拓
具体的内容	①ハローワークや日野法人会、日野商工会、その他高年齢者の求人を予定する事業者の情報収集に努め、多様な利用者へ就労支援ができるよう努める。
事業内容	3. 高年齢者就労支援セミナー
具体的内容	①高年齢層の就職活動を支援するため、高年齢者就職支援セミナーを年2回開催する。（共催 日野市・東京しごと財団（予定））

収益事業拠点区分

事業名	自動販売機設置管理事業
財源内訳	手数料、利用料、利息
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ
目的	公共施設に自動販売機や中央福祉センター内に印刷機を設置し、施設の利便性の向上を図るとともに、社会福祉事業における財源確保に努める。
事業内容	1. 自主財源の確保
具体的内容	①日野市公共施設内（9施設）における運営管理を行い、手数料を社会福祉協議会の財源とする。 ②新たな設置場所を開拓できるよう努めていく。 ③事故・苦情の相談を受付、契約事業者へ必要な指導・指示を行う。
事業内容	2. 赤い羽根共同募金運動への協力
具体的内容	①手数料の一部を赤い羽根共同募金とし、地域の福祉施設・事業者への支援を図る。

事業名	日野市役所内売店の運営
事業形態	収益事業
財源内訳	売上金、利息
担当係	総務係・日野市役所内売店
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ
目的	日野市役所内売店を運営し、市役所の利便性の向上を図るとともに、社会福祉事業における財源確保に努める。
事業内容	1. 運営形態の見直し
具体的内容	日野市役所来庁者の利便性の向上ならびに健全経営が図られるよう検討を行っていく。
事業内容	2. 障害者の社会参加の促進
具体的内容	①陳列・清掃・軽微な事務等を障害者施設へ呼び掛け、障害者の社会参加を促進する。 ②障害者施設職員による定期指導を義務付け、障害者の社会訓練の促進の強化を図る。

共同募金運動

赤い羽根共同募金運動

事業名	東京都共同募金会 日野地区協力会（募金業務）
事業形態	赤い羽根共同募金運動（共同募金運動）
財源内訳	地区協力会事務費
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ
目的	東京都共同募金会日野地区協力会事務局として、日野地区における赤い羽根共同募金運動の普及・啓発に努め、社会福祉施設が行う事業の助成金として活用し、東京都ならびに日野市の社会福祉事業の推進を図る。
事業内容	1. 多様な方法による募金の普及・拡大
具体的内容	自治会をはじめ個人・団体からの募金や街頭募金活動、自動販売機からの寄附等多様な方法による協力で、運動の普及・拡大に努める。
事業内容	2. 広報啓発活動
具体的内容	①様々な広報媒体を活用して共同募金の実績・使途報告を行い、地域への共同募金運動への理解を深める。 ②募金ボランティアに協力する児童・学生へ共同募金の説明を行い、福祉教育の一環を担う。

事業名	東京都共同募金会 日野地区配分推せん委員会（配分業務）
事業形態	赤い羽根共同募金運動（共同募金運動）
財源内訳	地区配分推せん委員会事務費
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ
目的	東京都共同募金会日野地区配分推せん委員会事務局として、日野市内における社会福祉施設からの『助成金の受付ならび申請内容の審査・検討』を行い、東京都共同募金会へ推せん・意見書の交付を行う。
事業内容	1. 審査・推せん（推せん・意見書の交付）
具体的内容	①市内の福祉事業者から申請された全都配分（30万円以上の助成金）において、東京都共同募金会に対し意見書の交付を行う。 ②市内の福祉事業者から申請された地域配分（30万円以内の助成金）において、申請書の受付・聞き取り、日野地区配分推せん委員会にて審査・検討し、東京都共同募金会に対し推せん内容を報告する。
事業内容	2. 助成内容の調査・確認
具体的内容	①助成先からの報告書に基づき配分内容の確認を行うとともに、必要に応じ委員とともに助成先への訪問調査を実施する。 ②助成先施設見学会を実施し、助成金が正しく使われているか委員とともに確認する。

歳末たすけあい運動

事業名	歳末たすけあい運動の実施
事業形態	歳末たすけあい運動（共同募金運動）
財源内訳	歳末たすけあい配分金、事務費
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ
目的	日野地区における歳末たすけあい運動の実施主体（主催：東京都共同募金会・主唱：東京都社会福祉協議会）として、運動の普及・啓発に努め、日野市の地域福祉事業の推進を図る。
事業内容	1. 歳末たすけあい運動の普及・拡大
具体的内容	①自治会をはじめ個人・団体からの募金や街頭募金活動・バザー等多様な方法による協力で、運動の普及・拡大に努める。
事業内容	2. 歳末たすけあいバザー
具体的内容	①12月第一日曜日に日野市民生・児童委員協議会、日野市赤十字奉仕団と共催で歳末たすけあいバザーを開催、収益金を歳末たすけあい募金とする。 ②市内福祉施設や地域福祉団体へ協力を呼びかけ模擬店等の出店を行うとともに、出店団体同士の交流を図る。
事業内容	3. 広報啓発活動
具体的内容	①様々な広報媒体を活用して共同募金の実績・使途報告を行い、地域への共同募金運動への理解を深める。 ②募金ボランティアに協力する児童・学生へ共同募金の説明を行い、福祉教育を図る。

日野市社会福祉協議会組織体制



